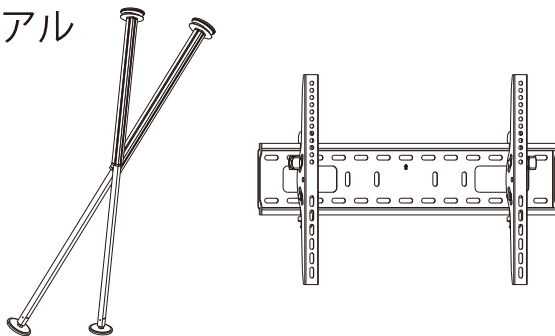


つっぱりポール テレビ壁掛け風設置システム
TVセッタージュネス



ORDPSPOATFT100S/M

設置マニュアル




施工者の方へ

設置前に必ずテレビと金具の適合をご確認ください

右のQRコードから最新の適合情報・設置の注意点などをご覧ください



●設置前にテレビと金具の適合を必ずご確認ください。

取り付け前提条件	テレビ背面对応ネジ穴幅	対応テレビインチ	最大テレビ重量
テレビ背面に壁掛け用のネジ穴が開いていて、 テレビ背面がフラットである事	テレビ背面にある壁掛け用ネジ穴の縦横ネジ幅 縦 : 75 ~ 400mm 横 : 50 ~ 610mm	26-65 インチ	20kg 

この度は、お買い上げいただき誠にありがとうございます。

当商品は、D I Y (日曜大工) が得意な方でしたら、慎重に作業すれば設置可能です。
しかし、組立・取り付けの不備による事故について保証はございませんので、作業に際しましては十分にご注意くださいますようお願い申し上げます。

基本的には、お近くの内装業者・電設業者へ依頼をされる事をお勧めします。



組立不良・取り付け不良、および天災等による事故・損害については、一切の保証はございませんので、ご了承ください。

- ・安全性を十分に考慮し、設置中に怪我や部屋にキズを付ける事の無いようご注意ください。
- ・設置にあたっては、十分な作業スペースを確保してください。
- ・取り付け工事は2名以上で行うことを強く推奨いたします。
- ・テレビの壁掛け以外のご使用、部品の改造等はしないでください。
- ・設置中に少しでも不安を感じた場合は、作業を中断し、お近くの内装業者・電設業者にご相談ください。

製品に関するお問い合わせ： **0422-38-4912** 受付時間10:00~18:00(土・日・祝除く)

販売元: スタープラチナ株式会社

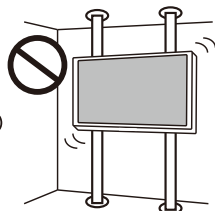
〒180-0006 東京都武蔵野市中町2-2-2 ジュネス武蔵野5F
<https://starplatinum.co.jp/>

設置にあたって：必ずお読みください



ご注意

- 必ず強度のある天井・床にしっかりと設置してください。無理な設置はテレビの落下、大怪我に繋がります。
- 電源コードや配線にキズを付ける事の無いようにご注意ください。火災などの原因になります。
- 設置の際は、テレビや周辺機器の電源をコンセントから抜くようにしてください。
- 以下の場所には設置をしないでください。
 - ・振動があるような不安定な場所
 - ・人がぶら下がったり、寄りかかったりするような場所
 - ・湿度や温度の高い場所
 - ・テレビの通気が悪い場所（エアコンの側、天井のすぐ側等）
 - ・開閉するドアの側
 - ・その他、テレビ設置に不適格だと思われる場所



※振動など無理な設置

最初にポールを設置します。ポールの設置については、ポールの説明書を熟読ください。

設置にあると便利な道具

- 1) ドライバー
ネジ頭のサイズに合わせて、数種類があると便利です。
- 2) 柔らかい布
設置の過程で、床などにテレビを置く事になります。下に敷いてテレビを保護します。
- 3) 軍手
手を保護します。テレビを持つ時は滑らないように素手が良いかもしれません。

さあ、設置・・・の前に

- 設置前にテレビと金具の適合を必ずご確認ください。

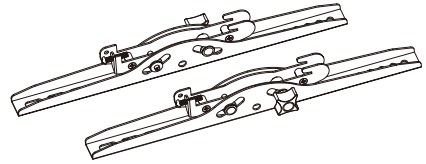
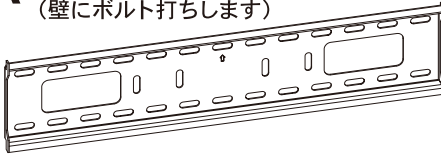
取り付け前提条件	テレビ背面对応ネジ穴幅	対応テレビインチ	最大テレビ重量
テレビ背面に壁掛け用のネジ穴が開いていて、 テレビ背面がフラットである事	テレビ背面にある壁掛け用ネジ穴の縦横ネジ幅 縦：75 ～ 400mm 横：50 ～ 610mm	26-65 インチ	20kg

- 設置に必要なネジ類は付属しています。しかし壁の状態によっては若干短かめのネジがあると作業がし易い場合があります。その時はホームセンター等でご用意ください。

付属部品リスト一覧

以下の部品が全て揃っているかをご確認ください。もし足りない部品がある場合、ご購入店にご連絡ください。

A 壁面ベースプレート (壁にボルト打ちします)



B テレビブラケット×2個 ※左右対称

水平器

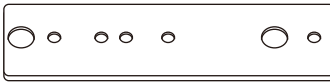


●ネジパッケージ

ボールに補助プレート [D] を取り付ける際に使用します。

補助プレート - 2 枚

D



皿ネジ - 4 本



コマ - 4 個



ボール打ち用ボルト×4 本



ボール打ち用ワッシャー×4 個

M-A



M5×14mm ボルト
4 本

M-B



M6×14mm ボルト
4 本

M-C



M6×30mm ボルト
4 本

M-D



M8×30mm ボルト
4 本

M-E



M8×50mm ボルト
4 本

M-F



角型ワッシャー 4 個

M-G



小型スペーサー 8 個

M-H



スペーサー 4 個

●以下のネジについては別途、透明の袋に同梱しております。



M4×14mm ボルト 4 本



M4×25mm ボルト 4 本

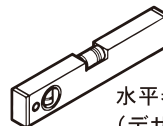


M5×25mm ボルト 4 本

●設置用プレゼントアイテム



結束バンド

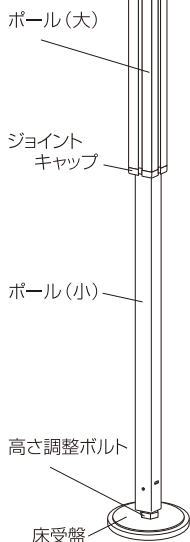
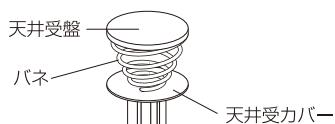


水平器

(デザインは異なる場合があります)

つっぱりポール部 付属部品リスト一覧

以下の部品が全て揃っているかをご確認ください。



設置の前に必ずお読みください

当商品は、通常のつっぱりポールと同じ構造です。
つっぱりポールの設置には万全の注意を払ってください。

組立不良・取り付け不良、および天災等による事故・
損害については、一切の保証はございませんので、
ご了承ください。

ポールの耐荷重について

メーカー発表のポールの耐荷重は 50kg ですが、当社独自で
実際にテレビを設置し、震度 6 強の耐震検査を行った結果、
テレビを設置した場合の耐荷重は当社商品ページの記載に
ある通りです。それ以上の重さのテレビは設置しないで下さい。

適切な天井の状態について

当商品は 天井と床を強く突っ張る事で設置強度を高めます。
天井は、以下の場所を選んで設置するようにしてください。

- 天井裏に梁が通っている場所
- 鉄筋等、天井下地がシッカリしている場所



梁が無い天井に設置した場合、震災が
来た時に天井が浮いた状態になり、
ポールの転倒が発生しやすくなります。

天井や床の設置痕について

設置痕については、通常のつっぱりポールと同様です。

- 畳や絨毯には設置跡が強く残ります。
- フローリング床には、若干の痕が残る場合があります。
- 石膏ボード天井は 若干の変色、跡が残る場合があります。

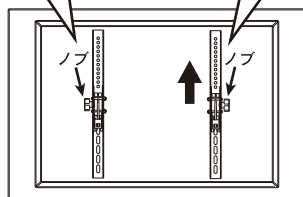
ステップ 1-A テレビブラケットのテレビへの取り付け

① テレビ背面にブラケットをあてがいます。

図を参考にブラケットをテレビ背面のネジ穴にあてがいます。

どれかのネジ穴に合うはずです。
万一、テレビの背面のネジ穴とブラケットのネジ穴が合わない場合、
テレビの壁掛けは出来ません。

ノブを外側にして下さい。
(ノブは固定されています)
左右を間違えないように設置をお願いします。



② テレビの背面が平面の場合の取り付け

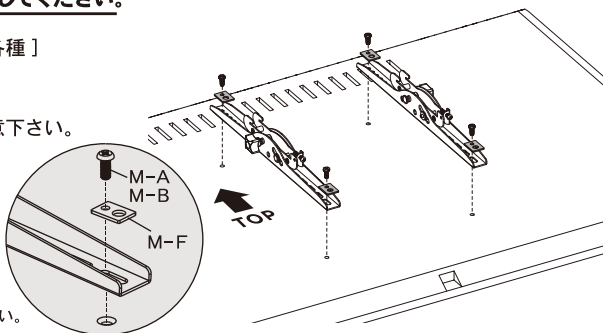
テレビブラケットをテレビに取付します。下記のイラストを見て金具の上下を間違えないようにしてください。



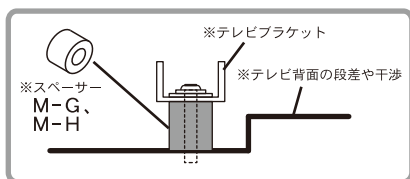
ネジ穴を合わせて、ネジ [M-A、M-B他各種]
とワッシャー [M-F] で取付をします。
テレビに合うネジがない場合、
お手数ですがホームセンター等でご用意下さい。

ネジ [M-A、M-B] が太すぎて
テレビのネジ穴に入らない場合、
別途同梱されている透明袋のネジを
お使い下さい。

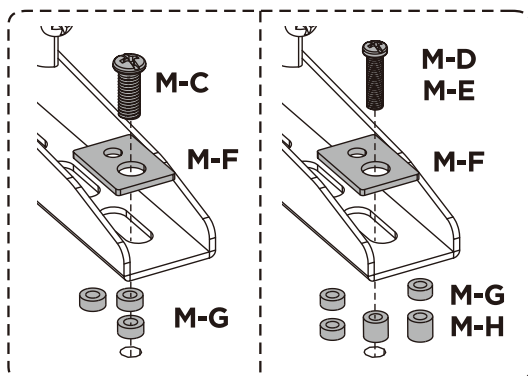
※ワッシャーには 2 箇所穴が開いていますが、
ネジの太さに合わせてどちらかを使用して下さい。



ステップ 1-B テレビの背面に凹凸がある場合



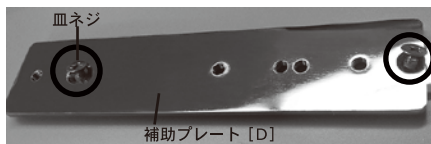
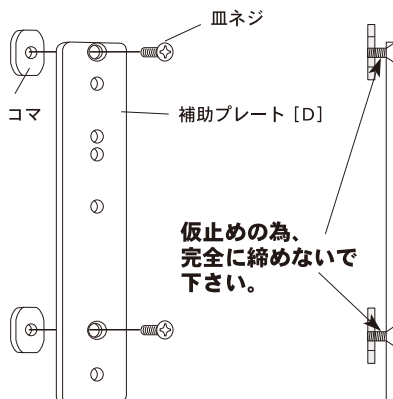
テレビに段差があったり、ネジが長すぎる
場合、付属のスペーサーを使って、段差
などを埋めます。
最適なスペーサーの噛ませ方については、
右図を参考にお手元のテレビに合わせて
下さい。



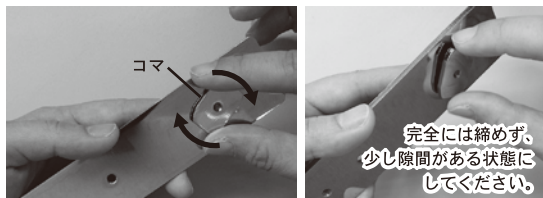
※ワッシャーには 2 箇所穴が開いていますが、
ネジの太さに合わせてどちらかを使用して下さい。

ステップ 2 ポールへの補助プレートの取り付け

- 1** 補助プレート [D] の 2 箇所の皿穴に皿ネジを通し、コマを仮止めします。同様の物を 2 枚組み立てます。下図を良く見て組み立て作業を行ってください。

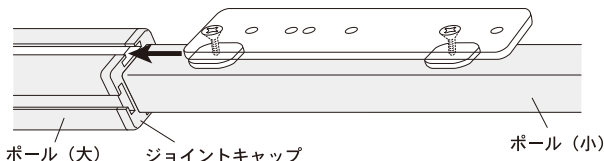


皿ネジを溝にはめ込みます。この時、溝以外に皿ネジを入れると、ネジが届かず設置できませんのでご注意ください。

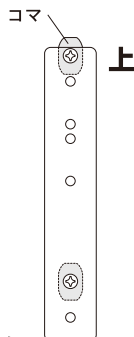


皿ネジを指で押さえて、裏からコマのネジ穴を合わせます。
2～3 回ほどコマを回して仮留めしてください。
※ネジは完全に締めないでください。

- 2** 補助プレート [D] をポール (大) に取り付けます。下図を参考に、ポールのジョイントキャップ部より、ポール (大) の溝にコマが見える方を上にして上下のコマを通します。ポールを横に倒してプレートを「滑り込ませる」と作業がやり易いでしょう。



ポールに
補助プレート [D] を
滑り込ませます。

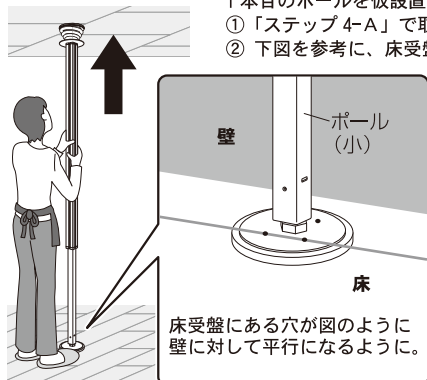


- 3** 2 本のポールに対して、それぞれ補助プレート [D] を滑り込ませてください。この段階では仮止めですので、適当な位置までプレートを滑らせたら、ポールを立てた時に落ちない程度まで皿ネジを締めてください。キツく締める必要はありません。

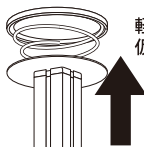
ステップ3-A 1 本目のポールの仮設置

1 本目のポールを仮設置します。

- ① 「ステップ 4-A」で取り付けた補助プレートが正面に見えるようにします。
- ② 下図を参考に、床受盤の穴が壁に対して平行になるように調整して下さい。



床受盤を床に付けたまま、ポール (大) を持ち上げて上方向にゆっくり引き伸ばします。
この段階では、軽くバネが縮む程度の仮止めにしてください。



天井裏に梁 (ハリ) のある場所、もしくは補強されている場所に設置に適切です。梁以外の場所に設置すると、突っ張り強度が落ちます。

ステップ 3-B



設置の精度・耐震性を高めるためには、ポールを垂直に立てる事が重要です。イラストのようにポールに沿わせる事の出来る水平器をご用意いただき、前後・左右それぞれにしっかりとポールが垂直である事を確認してください。



ご注意

ポールの移動や位置の調節時のご注意

ポールには太い部分（ポール大）と細い部分（ポール小）があります。

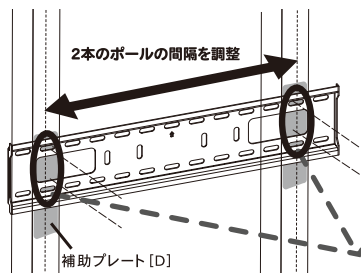
ポールの移動や位置の調節時にポール（大）部分を持つとポールが伸びてしまう場合があります。

水平を取る場合等は、必ずポール（小）部分を持って調節するようにして下さい。

ステップ 3-C 2本目のポールの位置の決定 → 仮設置

ベースプレート [A] をポールにあてがって 2本目のポールの間隔を決めます。

ベースプレート [A] の両端のネジ穴にポール打ち用ボルト（×4本）を止められる様に2本目のポールの間隔を決定します。 ※このステップの目的は2本のポールの間隔を決める事です。補助プレートの高さは、まだ調節しないで構いません。イラストは便宜上、補助プレートの高さも合わせたイメージ図です。



2本のポールの間隔を決める際に。

ベースプレート [A] のネジ穴はプレートの両端、図の位置の上下のネジ穴を使用して下さい。

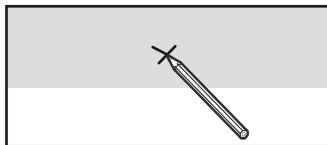


ご注意

ベースプレート [A] の左右側面にネジでカバーを取り付けた後、一番端のネジ穴を使用するようポールの間隔を設定する。

ある程度 正確な2本目のポールの位置が決まったら、天井もしくは床に目印をしてください。

2本めのポールを「ステップ3-A～3-B」を参考に仮設置してください。



ステップ 3-D 3-A～3-Cを再チェック

2本のポールの仮設置が完了しました。以下の点に注意して、3-A～3-Cを再チェックしてください。

①床受盤にある穴は壁に対して平行か？→ステップ3-A

②2本のポールは天井に対して垂直か？（水平器使用）→ステップ3-B

③ベースプレート [A] の両端のネジ穴を使用するように2本のポールの間隔が保たれているか？→ステップ3-C

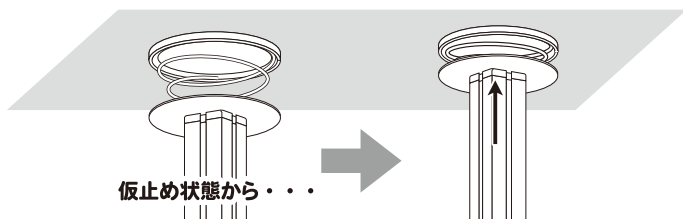
ステップ4 ポールの本設置～スパナを使用した固定



つっぱりポール設置の最重要部分です。

1

ポール（大）を更に真っ直ぐ上に伸ばします。天井に下図イラストを参考に押し込んでください。



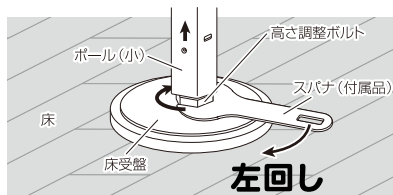
仮止めからイラストのように、少しバネが見える程度まで押し込みます

2

付属のスパナを使用してポール下部の床受盤に付いている「高さ調節ボルト」を左に回します。ポールがゆっくりと上に伸びていき、天井部のバネが縮んでいきます。しっかりと固定してください。



スパナを奥まで差し込み、六角と合わせて固定してから左回しでゆっくり回してください

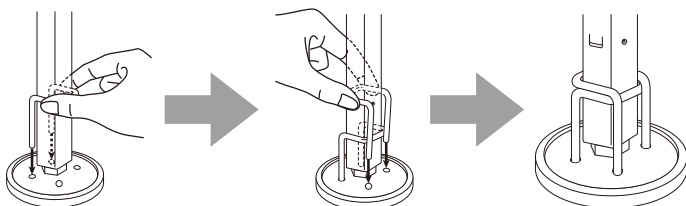


設置の最重要部分です！

- 天井受板がピッタリくっつくまで、必ずボルトを回してください。
- 必要以上に回すと、ボルトが舐めたり 天井を破損します。
- 設置後、手で軽くポールを引っ張り キッチリと設置されているか確認ください。

ステップ5 回転止めの取り付け

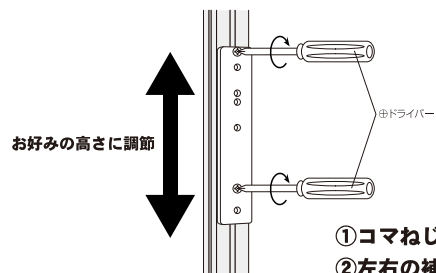
回転止めをイラストを参考にして取り付けます。回転止めはしっかりと奥まで入っている事を確認して下さい。



この付属品は、製品本体の回転を「抑止」するものであって、完全に回転は止められませんので、ご注意ください。

ステップ6 補助プレートの高さの調節と確認

図のようにコマねじを「軽く」緩めて、左右の補助プレートをテレビを壁掛けしたい高さに移動させてください。左右のプレートが同じ高さになるように調節します。

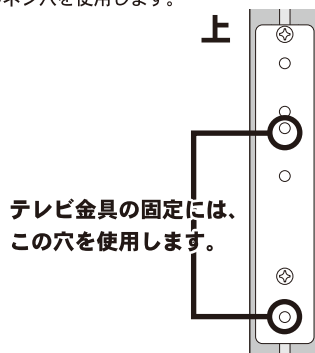


左右のプレート同じ高さに

- ① コマねじを緩め過ぎてコマが取れないように注意 !!
- ② 左右の補助プレートの高さを同じに。あらかじめメジャーを使用してボールにマーキングをすると良いでしょう。

ステップ7-A 補助プレートのネジ穴の位置の確認

ボールに固定されている補助プレート [D] のネジ穴の内、下図の通り、コマで使用している穴を除いて、「一番上」と「上から四番目」のネジ穴を使用します。



ステップ7-B 補助プレートにベースプレートをネジ止め

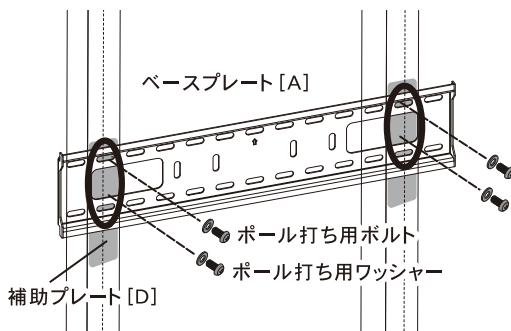
「ステップ8-A」にある 補助プレート [D] の「一番上」と「上から四番目」のネジ穴に、ベースプレートをネジ止めます。

4点、しっかりとネジ止めて下さい。



ご注意

2枚の補助プレート [D] の高さが一緒でない場合、無理に設置する事は絶対にお止め下さい。ステップ7に戻って、補助プレート [D] の高さを調節し直してください。



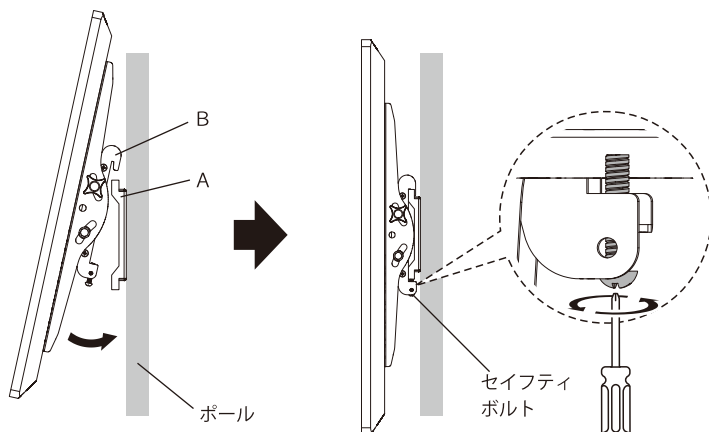
ステップ 8 テレビとポールの取り付け



必ず二人での作業を!!

左右のテレビブラケット[B]の上部を壁面プレート[A]の上部に引っかけます。上部がしっかりと引っかかっている事を確実に確認してください。

この作業の前に、必要な配線の取り付け処理を行っておくと良いでしょう。



- 上部を壁側のプレートに引っ掛けて、ゆっくりとテレビを壁側に沿わせます。この際、取り付けた配線が折れ曲がったりしないように気を付けてください。

- 最後に右図を参考にセイフティボルトをしっかりと締めます。

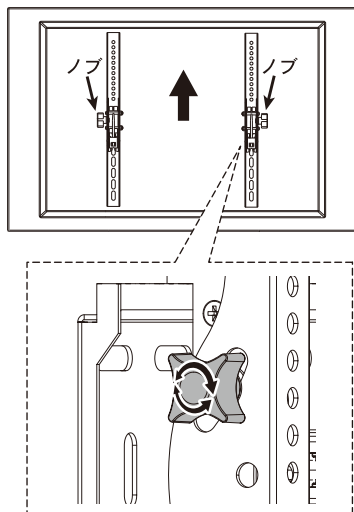
セイフティボルトについて 耐震効果を高める設置

セイフティボルトをしっかりと締める事で耐震効果が大きく向上します。必ずきつめにガッチリと締めるようにしてください。又、定期的(半年程度)に緩みが無いかをご確認ください。

ステップ 9 上下の角度調節について

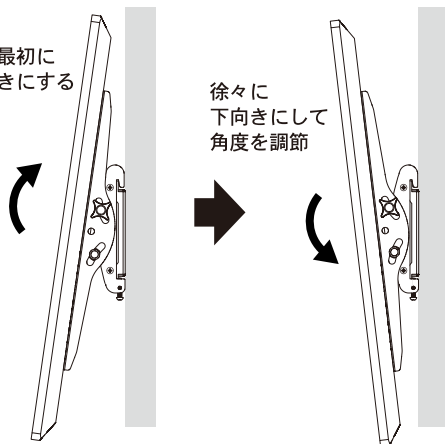
テレビの重量に合わせて、ノブの締めつけ強さを調節してください。

この金具はフリーロックチルトです。一度、上向きにしてからお好みの角度まで下に向けてください。



まず最初に
上向きにする

徐々に
下向きにして
角度を調節



お疲れ様でした。設置作業は完了です。

⚠ 定期的にポールを軽く揺すって、突っ張りが効いているかチェックしてください。

メンテナンス 1 ポールを伸ばし過ぎた場合

- ①** ポールを手を持ち、上下を引っくり返します。ポール（大）の天井受盤側を下に下げ、ポール（小）の床受盤付近の注意シール面を上面向けます。イラストを参考にして下さい。



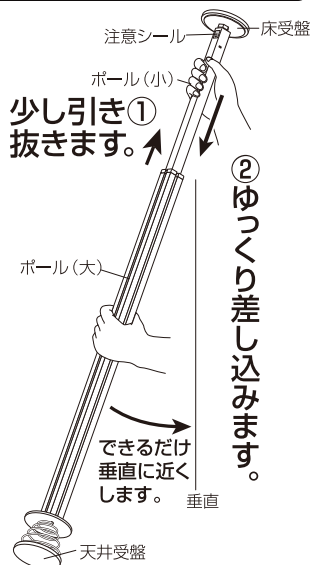
- ②** 一旦、ポール（小）を手で握り「少し引き抜く」と内部ロックが解除されます。

- ③** 手で握ったまま、今度は「ゆっくり」とポール（小）を差し込んでください。（動作が速いと止まります）

動作が止まった場合、1～3を繰り返してください。



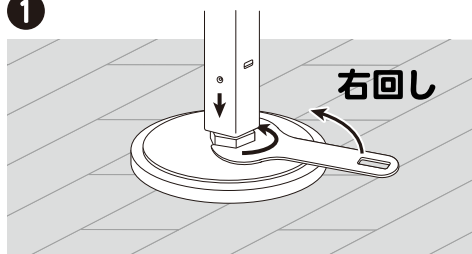
急激に締めようとすると、床受盤が外れる等のトラブルの原因になりますので、必ず手で握った状態のまま「ゆっくりと」長さ調節をしてください。



メンテナンス 2 ポールを外す場合

本体下部の床受盤に付いている「高さ調節ボルト」を付属品のスパナで右に回してツッパリを緩めた後、ポール（大）とポール（小）を両手で持ち、上に持ち上げて床受盤を床から少し浮かせてずらし、ポールを外してください。

①



※右回しで十分にツッパリを緩めてください。

②

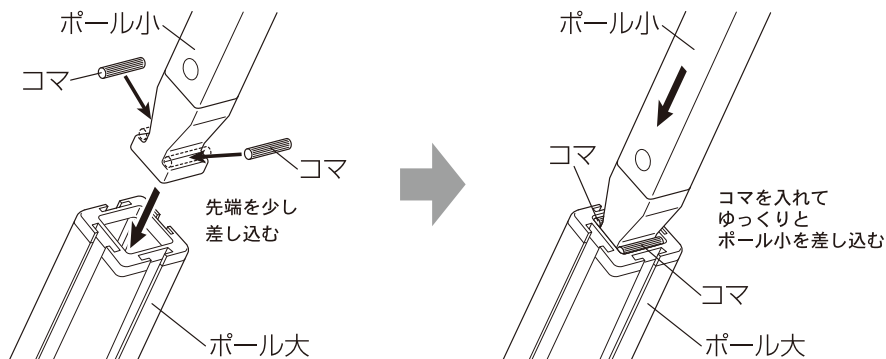


スパナを置くまで差し込み、六角と合わせて固定してから右回しでゆっくり回してください

メンテナンス 3 ポールが外れてしまった場合の対処法

ポール（大）の天井受盤側を出来るだけ下にさげて（垂直近く）、ポール（大）にポール（小）の先端を少し差し込みます。

ポール（小）の先端近くの溝に、抜け落ちたコマ2個を横にして1個づつ入れた後、ゆっくりと差し込んで下さい。
なお、途中で止まった場合、「メンテナンス1 ポールを伸ばし過ぎた場合」の1～2を行ってください。

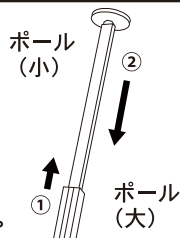


参考

●ポールを縮めるコツ●

1. ポールを逆さの状態、できるだけ垂直に近い角度にしてください。
2. ①の方向に少し引き抜きます。
3. ②の方向にゆっくりと差し込みます。

※途中で止まった場合は、①→②の動きを繰り返してください。



ご注意

設置後の定期確認について

各取り付け部分や壁面部にガタつき等が無いかな、チェックをしてください。

緩みがあった場合は、しっかりと締めなおしましょう。

少しでも違和感があった場合、テレビをいったん取り外し、専門業者に相談してください。

これらのチェック作業は3ヵ月に程度を目安に定期的に行い、経年使用による落下などが無いように注意してください。